

めざせ海ごみゼロ活動

○6月17日(土) スポGOMI甲子園・鳥根県大会 in キララビーチ

スポGOMI甲子園とは、「スポーツ×ゴミ拾い」の略。3人1組でチームを組み、決められたエリアで時間内に拾ったごみの量や種類でポイントを競う競技大会。優勝チームは東京で開催される全国大会へ出場する権利を得ることができる。

当日は13チームが参加し、優勝チームは16.46kg(1760.5ポイント)ものごみを拾い集めていた。私達も目標どおりオリジナルアイテム賞に輝いた。



～私達らしい参加の方法を模索～

はじめに、出雲市のホームページなどで事前にごみの分別や、回収方法を調べた。「世界で最も環境に優しいスポーツ」と知り

SDGsの

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 2 つくる責任使う責任
- 1 4 海の豊かさを守ろう

3つの目標のロゴマークをショルダー型ごみ拾い箱に大きく描くことを決定した。



2年連続オリジナルアイテム賞を
ねらって、事前準備OK!
いよいよスタートだ。

燃えるごみは、赤い袋
燃えないごみは、青い袋
プラスチックごみは、どちらに
入れるべきか？



学校で不要になった段ボールを、ショルダー型ごみ拾い箱(オリジナルアイテム)にして、使い終わった養生テープの芯を外側につけ、火ばさみ掛けとして再利用した。

チームの一員として、責任を持ちルールを守り競技を楽しみ、ワクワク感を味わった。

○7月23日(日) 高校生の海ごみ調査 in 西浜海岸

海洋ごみ問題に関連して、出雲市が企画された海ごみ調査に参加。
平田高校 J R C 部、出雲西高校インターアクトクラブ、大社高校 J R C 部と個人参加の社高生
など36名で調査した。



川などから流れ込んだごみが、海岸に運ばれていた。なかには、ペットボトルやお菓子の袋に混じって謎の液体が入ったビンなど、危険な物も打ち上げられていた。

ほんの15分で
大量のごみを収集した。
今日拾ったごみは
全て埋め立てごみとして処理
されると聞き驚いた。



集めたごみを、湖陵コミュニティーセンターで
分別調査

- ①種類別
- ②言語標記別

日本の他に中国や韓国のもものも漂着していることがわかった。同じように海外へ日本のごみが渡っているのではないかと不安に思った。

意見交換

調査結果を参加者全員で考察

- ・生活ごみ 6割
- ・漁業ごみ 3割
- ・不明ごみ 1割

★ 私達ができる事を考えた。

ポイ捨て禁止のポスター作成、エコバッグやマイボトルを持ち歩き自分の出したごみに責任を持つ。
必要なものだけ買うことを心がける。



スポンジGOMIで使ったアイテムを参加者に紹介。
SDGs **11**, **12**, **14** の目標を確認し
日頃から自分ができる事を意識し行動に移して
いきたい。

